

Kita no Kawaraban

北の瓦版

URL <http://www.do-shokoren.com/>

北海道商工会連合会 〒060-8607 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7ビル
TEL(011)251-0101代/FAX(011)271-4804
編集人:事務局長 德倉 学/定価:1部50円/隔月1回1日発行
会員の年間購読料は会費に含めていただいております。



宗谷・十勝・渡島の三商工連は、商工経済懇談会等で決議された地域振興策などの案件について関係する行政機関等へ要望した。

宗谷商工連（河村照和会長）は、稚内商工会議所（井須孝誠会頭）と共に六月十五日、稚内市内のホテルに於いて、管内八商工会役員、稚内開建、宗谷支庁、道教育庁宗谷教育局、管内市町村長などが出席し、「第三十七回宗谷商工経済懇談会」を開催した。

同懇談会では、宗谷支庁の存続をはじめ三十八項目の要望事項を決議した。

これを受けて、河村会長と井須会頭らが当日、稚内開建、宗谷支庁、宗谷教育局へ要望を行い、七月九日には札幌要望（道議会、道開発局、道経産局など）、十日には中央要望を実施し、国土交通省、農林水産省、環境省、資源エネルギー庁、武部勤代議士などに要望した。



会議では、「地域間競争に勝ち抜く十勝づくり」をテーマに各関係機関の代表から「道東道の道央直結による十勝地域の取り組むべき戦略」、「地域資源を活かした十勝観光の振興策」等

渡島商工連（木元護会長）は、七月五日、函館市内のホテルで管内商工会長会議を開催した。函館・札幌要望会の案件について協議し、北海道新幹線の開業に伴う経済活動・商業活動の拡充、文化交流の促進や地域振興の検討、渡島・檜山両管内をつなぐ道南周辺道路の整備効果等についての意見交換を行い、

「北海道新幹線の建設促進」「道路財源の安定的確保と社会資本整備重点計画等の推進について」等九項目の要望事項を決議した。

これを受けて、木元会長と管内会長らが八月二十一日に函館開発建設部及び渡島支庁、二十二日には北海道開発局及び道に

要望した。

見交換を行い、「景気対策の推進について」、「地域に根ざした対策について」等八項目の要望事項を決議した。

平成十八年度からスタートした「小規模事業者新事業全国展開支援事業」は、本年度全国で百三十六商工会が採択され、このうち道内からは十一商工会と道商工連が採択された。

また、道では小規模事業者が商工会などと共同して行う、地域における新たな事業展開や商品・サービスの開発などの取り組みを支援することにより地域経済の活性化を図る「小規模事業者地域経済活性化事業」を新規事業として創設し、八月に八件を採択した。

採択された商工会等は、以下のとおり。

『全国展開』

乙部町・寿都・真狩村（広域）
・下川町・増毛町・中頓別町・
豊富町・利尻町・清里町・鹿追町・広尾町の各商工会

『地域経済活性化』

当別町・仁木町・美瑛町・枝幸町・常呂町・白老町・中標津町・標津町の各商工会の小規模事業者等。





創業塾（一般・女性コース）開催される
ステップアップ、経営革新塾も開催予定

道商工連では、道内経済の活性化を図るため、八年前から創業塾を開催している。

新塾二回を計画。既に六月には三〇名が参加した「一般コース」が終了。七月の「女性コース」には、二十八名の受講生が起業ノウハウやビジネスプラン等を学んだ。

創業塾・ステップアップコース
開催期間は、十月十三日から
二十七日までの土・日五日間で
道商工連にて開催。

一 經營革新塾

開催期間は十一月三日から十七日までの土・日、五日間同会場で開催。

の講義と、中小企業診断士等の専門家と個別相談によって自らのビジネスプランの完成を目指す。

開催期間は十一月三日から十七日までの土・日、五日間同会場で開催。

この経営革新塾は、新事業開発、新分野進出、販路拡大等を目指す経営者や後継者等が対象。主な内容は、「経営革新の必要性と自社の事業構造の分析手法」、「戦略的マーケティング手法」等について、各分野の専門家から学び、さらなる発展を目指すための「経営革新計画」を作成していく。

人事異動

開催期間は平成二十年一月十六日から十八日の三日間、帯広市で建設業の経営管理者・技術管理者・現場技術者を対象。経営改革戦略と現場改革戦略のための、新しい工事管理の導入手法等、経営革新事業種別コース（建設業）を予定している。

道商工連では、創業塾・経営革新塾の受講生を新聞等で隨時募集し、多くの方が受講されることがあります。

商工会人事（八月一日）▽栗沢
町商工会事務局長（新任）片山義範▽下川町同（新任）高橋水哉▽穗別町記帳専任職員（鵠川町記帳指導職員）立花好基（九月一日）▽八雲経営指導員（神恵内村同）高田悟志▽神恵内村同（知内補助員）相馬智広▽下川町同（佐呂間町同）打越和哉▽佐呂間町同（東神楽町補助員）小泉大介
【退職】（六月三十日）▽栗沢
町商工会事務局長平井靖法▽下

これまでのご利用に感謝申し上げます。

全国商工会連合会は通信費賃減事業（通称「ひまわりコール」）として商工会員の皆様に固定電話の通話料金の低減化をご提案してまいりましたが、九月末日をもって事業を終了することとなりました。

ひまわりホール

川町経営指導員川上浩一（七四）
三十一日）▽下川町事務局長木村
山慶一▽端野町同山本幸一（八〇）
月三十一日）▽八雲経営指導員

《新商工會長誕生》

元気なモノ作り 中小企業三〇〇社

経済産業省では、モノ作りにより地域経済を支えながら内外の市場で活躍する企業、意匠やデザインにより新規分野を開拓している中小企業など、全国各地で活躍する中小企業を、昨年に続き三〇〇社を選定した。

道内から選定された十四社のうち、商工会地域の会員企業二社の概要を紹介する。

○株式会社フジワラ

(藤原鉄弥代表取締役)

(北斗市商工会)

「業界初、鉛フリーの釣り用オモリの実用化」

オモリは鉛製という従来の業界常識を覆し、環境への負担を低減する、自然に優しい鉄製鉛フリーオモリを開発。

○丸玉産業株式会社

(大越修治取締役社長)

(津別町商工会)

「道産針葉樹一〇〇%の構造用合板を製造」

強度性能やコスト面で輸入合板に対抗しうる、再生可能な道産カラマツやトドマツを原材料とした構造用合板を製

新事業企画する中小企業は、地域産業資源活用事業計画を作成し、都道府県を経由し経済産業局に申請することができる。

観光・ビジネス・ご婚礼・ご会合に心をこめたおもてなし。



CP ホテル札幌カーテンパレス

〒060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目 TEL/011-261-5311
URL <http://www.hotelgp-sapporo.com/>

中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律

国は、平成十九年度に地域資源を活用した地場中小企業の新商品・新サービス開発、販路開拓等を支援する「中小企業地域資源活用プログラム」を創設し、六月二十九日に「中小企業地域資源活用促進法」を施行した。

本法では、国の中の基本方針に基づき、都道府県が(1)農林水産品、(2)産地の技術、(3)観光資源とともに地域資源を指定する基本構想を作成する。

農林水産品、観光資源など豊富な地域資源を有する北海道は、多数の新事業創出が期待されている。

造。地域の協同組合の中核企業として木質バイオマス燃料を活用した発電事業に取り組むことにより省CO₂化にも貢献。

機関の低利融資、設備投資減税、信用保証枠の拡大などの支援措置が受けられる。

は、独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道支部に「北海道地域支援事務局」を設置し、常駐する中小企業診断士等の専門家が、企業からの相談に対応するほか、ビジネスプランの作成から、市場調査、商品企画に対するアドバイス、販路開拓などをきめ細かい支援が受けられる。

体験型「科学とエネルギーのコミュニケーションセンター」



ともに輝く明日のために。
Light up your future.

ほくてん

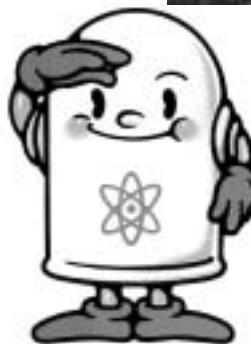
北海道電力 原子力PRセンター

とまりん館

〒045-0201 古宇郡泊村大字堀株村字古川45番1

0135-75-3001

休館日／毎週月曜日・年末年始 開館時間／展示棟9:00～17:00 プール棟10:00～21:00
入館料・プール利用料／無料（ホームページアドレス）<http://www.hepco.co.jp>



通信

「と共同で、地元
ツタンソバ北海T
八号を使用した
無添加、無着色
の佃煮製法で仕
上げた新タイプ
のふりかけ、お
茶漬け（オホー

今年の春先より製造業者及び商品販売・管理業者の選定を行つてきた結果、製造業者は地元で異業種を営んでいる商工会の役員が継承することで決定し、商品販売・管理業者は「雄武・食卓の会」が中心となり、商工会員に出資者を募集したところ、

四十三件あり、うち十二件がス席のある町外の施設で行われていた。通常町内の葬儀はおで行われているが、人口の減などで、葬儀運営する各町内では受付・会計等の人手不足加え、参列者の高齢者化で置き会場では不便な事が多かった。

- からは、会場の準備・後片付け作業、受付・会計等の事業を加え、使いやすい料金で利用の向上を図ることにしている。
- 檢討して行く方針。

根わさびと、日高沖の鮭を原料とした魚醤「魚々紫（ととむらさき）」をセットにし、主にギフト用に商品化した。

「すじめ甘辛煮」「銀杏草のスイートチップ」は、えりも漁協女性部が商品価値の低い海藻を使用し、初めて商工会と漁協

「雄武の食卓」は、平成十七年九月に特許庁に商標登録済みであり、用途は、地元の土産品加工品等の統一ブランドベルとして消費、販路拡大を図るために使用するものである。

当事業は、平成十五年度から十七年度まで道及び町の補助金を受け調査、研究等を重ねた総仕上げとして平成十八年度「小規模事業全国展開支援事業」において、地元特産オリジナル開発グループ「雄武・食卓の会」を立ち上げ、「雄武の食卓」は、平成十七

化を図るためホタテの幼貝を使用するほか、パッキングデザイン等にもアイデアや工夫を加えた。

さらに大阪、東京で開催されたインターナショナルギフト・ショーに出展し、オホーツクブランド品としてバイヤー等から高い評価を受け、商談、引き合いの問い合わせが二十数社あり、事業の展開を図ることによった。

**地域経済活性化
胆管内
事業の
「葬祭事業開始」**

計十万円前後で利用が可能になる。

同会館は椅子席の大ホール、三十畳の和室、給湯が出来る調理室などを備え、食事は、町内業者の仕出し弁当等が利用できる。

昨年度は十月の事業開始以来四件の葬儀を行い、利用者からは好評で町内の経済効果も二百五十五、三百万元程度と推測している。

事業初年度は、祭壇レンタル業務のみで開設したが、今年度

年度「商工団体食と観光の地域ブランド創出支援事業」を実施した。

えりも町と様似町では、地域特産品として「えりも短角牛のローストビーフ」「すじめの甘辛煮」「銀杏草のスイートチップ」の三種類を商品化、日高町・平取町・新冠町・新ひだか町は、インターねっとショップの開発を担当した。

食の世界遺産にも認定された「えりも短角牛」を使用した「コクス、ビーフーは、様似

雄武町商工会（高橋高志会長）では、オホーツク海の美味逸品「雄武の食卓」をキヤッチフレーズに特産品開発事業に取り組んできた。

茶清の商品た。

化品を(け)

十名の賛同者を得、今年の五月に雄武の食卓有限責任事業組合を設立、事業の第一歩を踏み出した。

そこで、商工会は、地域住民の利便性と地域経済の活性化の目的で葬儀事業を開始し、葬儀に使う消費財の購入などは限り町内業者に発注することにしている。

**管内連携で
商品開発・
販売促進活動**

網走管内
特産品開発から
有限責任事業組
合設立へ

ツク海鮮
・オホー
ふりかけ



胆振管内 地域経済活性化
事業の「葬祭事業開始」

計十万円前後で利用が可能にならる。

年度「商工団体食と観光の地域ブランド創出支援事業」を実施した。

そこで、商工会は、地域住民の利便性と地域経済の活性化の目的で葬儀事業を開始し、葬儀

日高管内
商品開発・
販売促進活動



とっても、大きな活力になる」と推進していきたい考えだ。また、管内青年部は「地域振興パイロット事業」で、えりも町青年部が中心となって、「灯台つぶ」のブランド化に取組み、一昨年初めて札幌の大通公園で開催されている「リンクエージアップフェスティバル」に『つぶ串おでん』で参加、二年連続ベスト商品化（男のつぶおでん）した。今後、これらの商品のほかに

もとより、木炭は、備長炭のように燃料用として利用するだけでなく、臭気の吸着、土壤改良剤、融雪材、酪農業用等幅広く活用されている。

しかし、土壤改良剤などに活用する場合は、木炭の安定生産と廉価な供給が要求されている。陸別町木炭研究会で実証した

を実施した。

管内

とが協力し、町内の水産加工業者に依頼して商品化した。商工会にとって「今後の一次産業に

も管内の隠れた特産品等の情報発信を目的とし作成したサイト「日高の逸品」で充実した情報と、販路拡大・開拓を推進していきたいと意気込んでいる。

陸別町商工会は、平成十八年度、地域産業の振興と活性化を図るために「陸別町活性化推進協議会」を設立し、木炭等開発委員会を組織し実行グループとして「陸別町木炭開発研究会」を立ち上げた。陸別町木炭開発研究会は、十勝支庁地域政策総合補助金と陸別町まちづくり補助金の助成を得て、木炭等の市場調査と移動式炭窯の実証試験を実施した。

研究会の実証試験では、造林地内の残材を現地の木材工場で、移動式炭窯を使うことによって、森林資源を有効活用し、更に廉価な木炭生産が可能になるとし

十勝管内 木炭製造実証試験



移動式炭窯は、内容積3m³の炭窯で、炉内温度を連続的に計測し記録することが出来る。炉内温度分析することで炉内温度と木炭の特性の相関関係を把握して、用途に合った木炭を生産することが可能になる。

町活性化推進協議会では、移動式炭窯を使って、誰でもが簡単に出来る木炭の生産システムを構築し、移動炭窯のマニュアル作成と併せ炭窯の販売も視野に入れている。

経営のお悩みを解決します・あなたの再起業を応援します

—あなたの再チャレンジを強力にバックアップします—
早期転換・再挑戦支援窓口



対象者

- ①事業の見通しがつかない中小企業や個人事業者の方々
- ②廃業経験を活かして再起業したい方

■お問い合わせ
お近くの商工会、道商工連・各支所

相談メニュー

- 経営の再生
- 早期の事業撤退
- 事業展開
- 再起業に係る事業プラン
- 支援機関の紹介等

北海道商工会連合会 地域振興部
011-251-0102

●道南支所 0138-43-0086
●道北支所 0166-23-2670
●宗谷事務所 0162-24-1411
●網走支所 0152-43-6804
●十勝支所 0155-22-7151
●釧根支所 0154-43-0394

日高町商工会（会員数四六八）
札幌、苫小牧方面からのアクセスが向上している地区である。

日高町は、平成十八年三月、日高町と門別町が平取町を挟んで飛び地として合併した町である。同町日高地区は、雄大な日高山脈に抱かれた道東への交通の要所、門別地区は、日高地方で初めて稻作を成功させた地区で、軽種馬の産地としても知られ、日高自動車道の延伸により、

堀江部長（六十八歳）は、昭和五十八年四月から、門別町商工会婦人部の三代目部長に就任し、平成六年四月から日高管内女性部連合会長、同年、道女性連理事、九年五月から同副会長、十五年五月同会長に就任と同時に道商工連理事を務める。

日高町は、平成十八年三月、日高町と門別町が平取町を挟んで飛び地として合併した町である。同町日高地区は、雄大な日高山脈に抱かれた道東への交通の要所、門別地区は、日高地方で初めて稻作を成功させた地区で、軽種馬の産地としても知られ、日高自動車道の延伸により、

企業紹介

「株堀江電気」昭和二十八年

線工事請負業として創業し、平成八年四月法人化。近年は、強

いインタビューの中で、堀江部長は、歴代部長から「部員数を減らさないで」といわれてきたことが脳裏をかすめるが、女性部をやめたいという部員はおらず、事業の廃業により、仕方なく脱退せざるを得ないという現実に心を痛めるという。

さらに、飛び地合併による距離等の様々な問題はあるが、「日高地区との融合と調和を図りながら活動していくたい」と語っている。

ピューマンプラザ

日高町商工会女性部長



堀江 育子さん

名、組織率六六・九五%）は、行政合併から約一年後の平成十九年四月、新「日高町商工会」としてスタートした。

商工会における主な事業は、女性部・青年部を中心とした新

創業事業への取組みや、地域産業の掘り起こしに向けた活動を展開し、さらに、各部会による

地域ブランド創出への積極的な活動に力を入れている。

みである高い技術力と、信用力を生かした、周辺市町部の工場プラント工事の受注増加に伴い、さらなる業務拡大を計画している。

資本金一千万円。従業員七名。



商工貯蓄共済実績報告

2007年7月末現在

1	生命加入実績	22,234件	83,475口
2	傷害加入実績	711件	3,111口
3	医療加入実績	4,074件	17,082口
4	積立金実績		17,408,930千円
5	斡旋融資実績		
6	年 度 実 績	151件	463,500千円
6	年 度 実 績	289件	840,050千円
6	斡旋融資残高	2,154件	4,790,437千円

経営者の退職金制度を知っていますか？

「小規模企業共済」ってのは
経営者が事業をやめたり、
役員を退いたときなどに備える
退職金制度
なんだって！

将来もらえる共済金は
一括で受け取ると
退職所得扱い
になって税制上の
Wメリット！



掛金は
節税
にもなるのよ！



●本制度についてのお問い合わせ・お申し込みは

お近くの商工会又は北海道商工会連合会へ

【制度内容は次のホームページをご覧下さい。 <http://www.smrj.go.jp/>】

..... 本制度は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構が運営しております。

景気動向指数は、来期もほぼ同じ状況の兆し

中小企業景況調査結果

道商工連は、道内商工会地域の平成19年度第一・四半期4-6ヶ月期実績による「中小企業景況調査」の結果をまとめた。

「業況(自社)」に係る前期(同19年1月-3月)比の景気動向指数D・I(増加・好転企業割合から減少・悪化企業割合を引いた指数)は、小売業のマイナス幅が3.4ポイント拡大しているものの、製造業、建設業は若干の改善、サービス業は4.5ポイント縮小している。

前期との対比に限定すると好転傾向が感じられる状況はあるが、依然として調査項目(売上、採算、資金繰り、業況等)のほぼ全般において、減少・悪化企業が増加・好転企業を上回っている。

また、同19年7月-9月期の「業況(自社)」見通しについては、前年同期(同18年7月-9月)の見通しと比べて建設業のマイナス幅が2.9ポイント、サービス業が5.1ポイント拡大しているものの、製造業は、マイナス幅が5.2ポイント、小売業は0.8ポイント縮小している結果となった。

◆ 業況天気図(前期比)

期	業種	製造業	建設業	小売業	サービス業	
平成17年 10月~12月						
平成18年 1月~3月						
4月~6月						
7月~9月						
10月~12月						
平成19年 1月~3月						
平成19年 4月~6月						
7月~9月 (※今期と比べた見通し)						
DI値	100.0~50.1	50.0~20.1	20.0~0.0	△0.1~△20.0	△20.1~△50.0	△50.1~△100.0
表示	 快晴	 晴	 薄曇	 曇	 雪	 吹雪

愛犬家から問い合わせや予約が相次ぐ、全天候型ドッグラン&ドッグホテルオーパン 株式会社スコッチガーデン 坂口智也 代表取締役

平成十八年二月に宗谷管内豊富町で事務用品小売業を営む(有)さいほく商事 坂口社長は、連合会に専門家の派遣を要請し、施設設計画をはじめとした事業計画について、地方での需要の掘り起こしや、設備の魅力度アップなどへの対応についてアドバイスを受け、指摘された当面の課題に積極的に取り組み本年六月一日にオープンにこぎつけた。坂口社長は、温泉街という地の利を活かし、ペットを一時預り、飼い主さんの豊富温泉利用を促進し新たな観光資源として事業を実施したいとドッグランを始める動機となつた背景や業務内容について相談した。

全天候型の室内ドッグランは広さが四八六m²室内ドッグランとして国内最大級の広さ、ドッ

ゲホテル、一時預りは大型犬用

愛犬家から問い合わせや予約が相次ぐ、全天候型ドッグラン&ドッグホテルオーパン 株式会社スコッチガーデン 坂口智也 代表取締役

三室、中型犬用四室、小型犬用三室の合わせて十室用意されており、各室にはインターネットカメラが備え付けられているので、飼い主は携帯電話などで愛犬の様子を二十四時間確認することができる。

坂口社長は、将来的に施設までパイプ等で温泉をひき「ワンちゃん専用温泉」「ペット湯治ツア」と他に例のないプランも実施したいと語ってくれた。

☎ ○一六二一八二一三三〇一

商工貯蓄共済制度

制度のあらまし

この制度は、商工会の事業として国から認められ、全国の商工会員が加入している商工会独自の共済制度です。

月々わずかな掛金で、「貯蓄」「生命保障」「融資」の3つの機能を組み合わせた、商工会員とそのご家族、従業員のみなさまのための制度です。

商工貯蓄共済の3つの特徴

1 貯蓄

自己資本の充実



毎月の掛け金は、その大部分が貯蓄積立金となり、知らず知らずのうちに資金が積み立てられ、自己資本の充実が図られます。

2 保障

企業と家族に安心



掛け金の一部が割安な保険料に充てられ、万一の場合、保険金をお受け取りができる、ご家族も安心です。

3 融資

企業の資金繰り



一定の条件のもとに低利な事業資金のあっせんが受けられ、企業の資金繰りが安定します。

*融資あっせんの際には、北海道商工共済協同組合による債務保証を受けるため、商工貯蓄共済制度の新規加入時には、同組合への加入が必要です。(出資金1口200円)



HP <http://www.toyotomi-kanko.net/dog.htm>

